

2025年度

情報学部

データサイエンス

プログラム

始動

実践を通じて体感する  
AI活用の現場知とデータ分析の深層

# 情報学部 データサイエンス プログラム

文部科学大臣が認定する「数理・データサイエンス・AI教育認定プログラム制度」には習得するレベルが設定されていますが、「情報学部データサイエンスプログラム」は、応用基礎レベルのモデルカリキュラムに準拠した科目構成としています。

生成AIなどの技術の進展により、社会から求められる知識・スキルの増加や変化が生じる時代において、「情報技術が社会を変える」という視点で、多様でありながらも深く踏み込んだ内容に触れていただきます。

## 対象者

情報学部（2023年度以降入学者）

## 修了要件

下記をすべて満たした場合、プログラムの修了者として認定します。

- 専攻科目「解析Ⅰ」「線形代数Ⅰ（行列）」の2科目4単位を修得すること。
- 専攻科目「確率統計学」「確率統計学Ⅰ」のうち、いずれか2単位を修得すること。
- 専攻科目「プログラミングA演習」「プログラミング技法Ⅰ演習」のうち、いずれか4単位を修得すること。
- 専攻科目「人工知能Ⅰ」「人工知能Ⅱ」の2科目4単位または「人工知能」「機械学習」「現場指向AIシステム論」のうち、2科目4単位を修得すること。
- 専攻科目「実践的データサイエンス演習」2単位を修得すること。



副学長・情報学部教授 秋吉 政徳

## 特徴

- 実践的演習  
AI活用やデータ分析に関わる先端企業による取り組みを、現場開発者による講義・演習を通して学びます。また、企業現場では、日々発生するデータ処理の問題をチームビルディングによって解決を行っており、技術指向だけでは問題解決として達成できない側面にも触れることとなります。
- 多様な選択科目群  
専門的科目として複数の切り口で準備する科目群により、履修の柔軟性を高めています。

## 関連イベント

- 情報学シンポジウム  
情報学分野をリードする有識者を招いて講演と総合ディスカッションで構成する公開シンポジウムを開催しています。  
テーマとして、2023年は「情報学への期待」、2024年は「情報学の拡がり」を実施し、2025年は「情報学の発展」で開催予定です。
- データ分析コンペティション  
データサイエンスプログラム構成科目の内容をもとに、実データを用いたデータ分析コンペティションを開催します。個人あるいはチームでの参加で、分析結果ならびにプレゼンテーションにより審査し、その結果を情報学部データサイエンスプログラムのホームページに公表します。